

| | |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 審議会等名 | 令和7年度つくばみらい市認知症初期集中支援チーム検討委員会 |
| 開催日 | 令和8年2月10日（火曜日） |
| 開催場所 | つくばみらい市役所 伊奈庁舎 3階 会議室 |
| 出席者 | 出席委員 江湖山 さおり委員、飯島 由美子委員、市毛 良香委員、 宮本 瞳委員、東野 幸代委員 チーム員 小松崎医師、堤精神保健福祉士、土井保健師、横田看護師、 藤木看護師 事務局 保健福祉部：片倉部長 介護福祉課：中村課長、飯泉課長補佐、原田係長、幕田保健師 社会福祉協議会：坂本課長 地域包括支援センター：阿部センター長 |
| 議案 | (1) 認知症初期集中支援チーム活動報告 (2) その他 |
| 議案概要 | 1 開会 午後6時00分 2 委員紹介 3 会長及び副会長の選出 会長：市毛 良香委員 副会長：東野 幸代委員 4 会長あいさつ 5 議事 (1) 認知症初期集中支援チーム活動報告について <資料にもとづいて事務局より説明> (市毛会長) ご意見、ご質問やありますか。 (江湖山委員) 支援チームに関するチラシですが、分かりやすいですし、市民向けではなく事業所向けにしたところがとても良いと思います。 質問ですが、初期集中支援の対象にならなかったケースに「家族と連絡が取れない」、また、総合相談での状況のところで「キーパーソンがいない・家族の協力が得られないケースもある」ともありましたが、このあたりはどのようにクリアしていくのでしょうか。 (事務局) 最初に相談が入ったが、その後連絡が取れなくなってしまい対応できなかったケースがありました。病院だと確認できないところを我々が積極的に介入していけたらと考えています。他にもできることがあればと思いますが、委員の皆様からご意見いただくと有難いです。 (江湖山委員) 同意が取れないから介入ができないということもあるかと思います。本 |

人の意向だけでというわけにもいかないでしょうし難しいところですね。

(市毛会長)

本人の受け入れが難しいと、家族の協力があると助かりますが、キーパーソンがいなかったり、連絡がとれなかったりするととなると困りますね。

(宮本委員)

(支援対象とならなかつたケースのところで)「家族が本人を刺激したくない」というのも「あるある」かなと思います。

(東野委員)

介入したいがなかなか入れないということはありますよね。素敵な声かけがあるといいのですが。

(宮本委員)

精神疾患の方を対応した際は、1年以上介入までに時間がかかったケースもありました。年単位での関わりとなることもありますね。

(市毛会長)

サービス利用がないと事業所としては苦しいですが、支援を諦めたくないですし、支援チームの皆さまのご苦勞も知れるところだと思います。

他にご意見ありますか。

(宮本委員)

相談日から初回の訪問まで短時間に実施できているのは、素晴らしいと思います。どのように調整しているのでしょうか。

(事務局)

今回は、内科疾患や精神症状の悪化してしまった方がおり早期に対応が必要なケースが多くありました。

(宮本委員)

フットワーク軽く早期に対応できたところはつくばみらい市の良さかなと思います。

(市毛会長)

他にご質問等ないようでしたら、次の議事にうつります。

(2) その他 (認知症に対する市の取り組み)

<資料にもとづいて事務局より説明>

(市毛会長)

ご意見、ご質問や感想等ありますか。

(市毛会長)

個人賠償責任保険は、SOS ネットワークに登録した方が利用できるのですか。

(事務局)

はい。こちらの保険は SOS ネットワークに登録と同時に加入手続きを行なっております。

(市毛会長)

皆さん、不安なところかと思いますがこういうものがあると助けになると思います。

(飯島委員)

認知症？伝え隊の活動について、質問です。なかなか認知症サポーター養成しても、サポーターやボランティアの活動場所に課題があるとよくお聞きするのですが、認知症？伝え隊というボランティアたちがキャラバンメイトにもなって、定例会も開催しているということで感心してしまったのですが、何人くらいの方がいらっしゃるのでしょうか。また、地域包括支援センターではどのように活動を支援しているのでしょうか。

(事務局)

市民ボランティアと事業所職員による職域ボランティア40人ほどに協力をいただいています。地域包括支援センター、介護福祉課が事務局となり、年3回ほど定例会を開催し、依頼のあった講座の日程調整や内容をどのようにするか等、一緒に検討を行っています。

(市毛会長)

あったか交流会についての意見になりますが、このような当事者同士の場所は大変救いになると聞いたことがあります。他の方にはなかなか分かってもらえないことも多いとのことで、同じような症状の方と交流ができ、理解し合えるというのは嬉しいことではないかと思います。すぐに何か支援の手を伸ばすということだけでなく、話を聞いてもらえることが助けになっているというご家族の声も聞いています。

(市毛会長)

その他ご質問等ないようですので、本日の議事をすべて終了いたします。

6 閉会 午後7時00分

そ の 他